



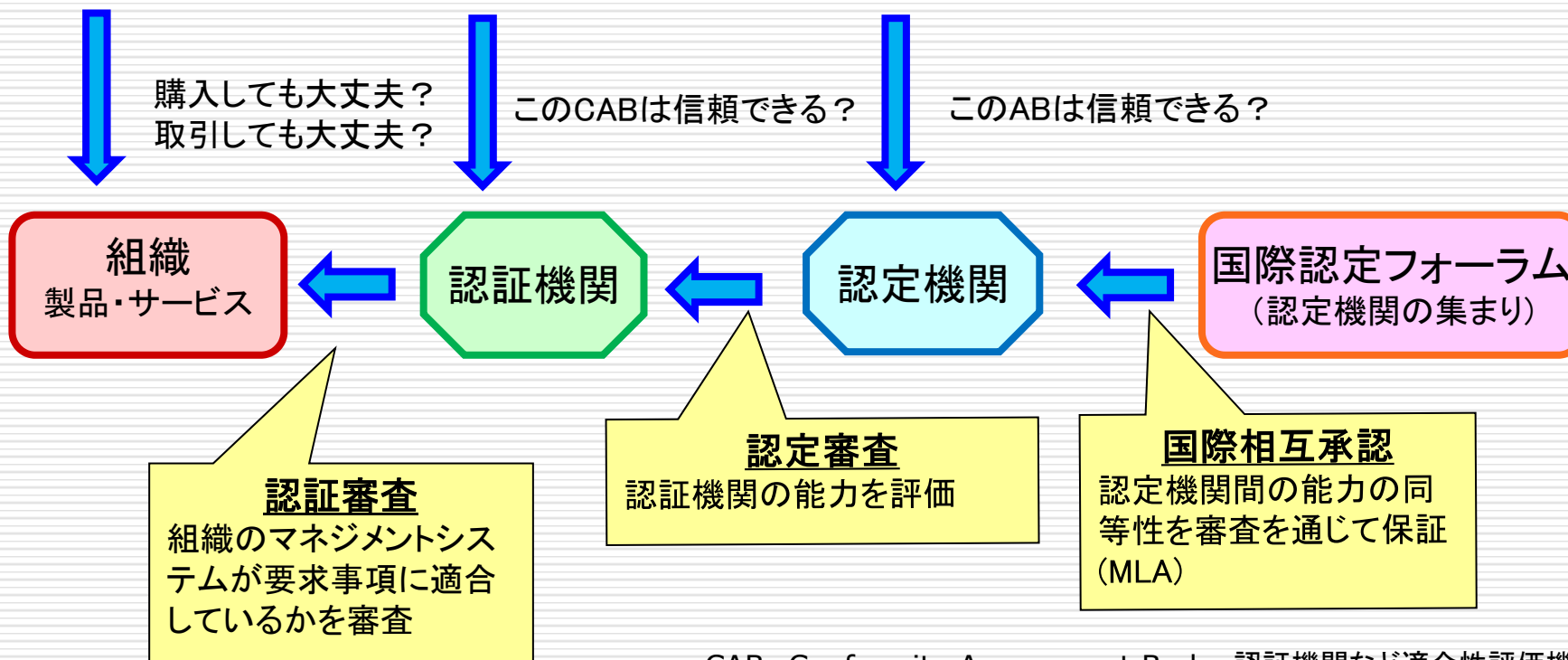
JABの認定～最新情報

2018年1月22日

公益財団法人 日本適合性認定協会
認定センター

第三者適合性評価制度の構造

利害関係者（顧客／購買者／スキームオーナー）



CAB: Conformity Assessment Body 認証機関など適合性評価機関

JAB: 認定機関、国内の例として (公財) 日本適合性認定協会

IAF: International Accreditation Forum, Inc 国際認定フォーラム

MLA: Multilateral Recognition Arrangement 国際相互承認協定

適合性評価の機能とISO/IEC文書

機能 機関	校正・試験	検査	認証										GHG 妥当性 確認・検証
			マネジメントシステム								製品	要員	
			品質	環境	エネルギー	労働安全	情報 セキュリティ	食品 安全	道路交通 安全	アセット			
認定機関が 満たすべき 要件	ISO/IEC 17011												
適合性評価 機関が満た すべき要件	ISO/IEC 17025	ISO/IEC 17020	ISO/IEC 17021-1 ISO/IEC 17021-3	ISO/IEC 17021-1 ISO/IEC 17021-2	ISO 50003	ISO/IEC 17021-1	ISO/IEC 27006	ISO/TS 22003	ISO/IEC 17021-1 ISO/IEC TS 17021-7	ISO/IEC 17021-1 ISO/IEC TS 17021-5	ISO/IEC 17065	ISO/IEC 17024	ISO14065 ISO14064-3 ISO14066
適合性評価 の対象とな る機関が用 いる規格	各種校正・ 試験方法 規格	各種 検査方法 規格	ISO 9001	ISO 14001	ISO 50001	OHSAS 18001	ISO/IEC 27001	ISO 22000	ISO 39001	ISO 55001	各種製品 規格	各種技量 試験規格	ISO14064-1 ISO14064-2

認定基準類の構成

- 認定の基準
 - 一般基準
 - 適合性評価機関の運営に関するJIS、ISO、ガイドなどに記載されているもの(17011 7.1)
 - ISO/IEC 17021-1, 17024, 17065, ISO 14065など
 - 個別基準
 - 分野に特有の技術的要求事項を含む認定の要求事項(17011 7.1)
 - ISO/IEC 17021-2,3, ISO/TS 22003, ISO 50003など
- 認定の手順
 - MS/PN/PD/GR 200
 - 特定の分野に対する補足手順
- 認定の規則
 - N401:認定に関する料金規定
 - N410:認定シンボル使用規則

IAF/PAC文書

- IAF/PACが、認定・認証スキームの一貫した実施のために発行する文書
- 基準文書(MD:Mandatory Document)及び参考文書(ID:Informative Document)
- JABは、内容を変更することなく翻訳し、JAB文書として発行する。あるいは内容を変更することなく、JAB手順に取り込み、参考訳を発行する。

製品認証機関の認定(1):トピックス

- GAP及びGAP運用農場で生産された農作物の認定プログラム
 - 認証対象: 食品安全、環境保全、労働安全が確保された管理がなされている農場の生産プロセス及びそこから収穫される農産物
 - JGAPのスキームオーナーである日本GAP協会が、新たにASIAGAPスキームを創設GFSIベンチマーキングスキームとして承認申請を行った(11/30)

- 消防設備認定プログラムの拡大(2018年2月～)
 - 認証対象: 消火設備・警報設備・防火水槽等
 - 消防法が引用する技術基準(消防庁告示)を基にした認証
 - IAF国外認定協力活動の一環としてRvAから認定プログラム引き受け

製品認証機関の認定(2):トピックス

- 漁業及び水産物の認定プログラム(2018年2月～)
 - 認証対象:対象漁獲種及び漁法が特定された持続可能な漁業及び当該漁業の漁獲製品であることを確実にする仕組み及び当該仕組みにより生産された製品
 - スキームオーナーはマリン・エコラベル・ジャパン(MEL)協議会
漁業の持続性(資源管理と生態系への影響の配慮)を認証するためスキーム
Global Sustainable Seafood Initiativeのベンチマーキングスキームとしての承認を目指している

GHG妥当性確認・検証機関の認定

- 2018年からの事業拡大－国際民間航空条約の附属書に規定されるCORSLIAにおける検証の機関に対する認定事業
 - 国際民間航空条約の附属書に規定されるCORSLIA (the Carbon Offsetting and Reduction Scheme for International Aviation) における検証の機関に対する認定事業を2018年2月1日より開始
 - ICAO CORSLIA検証にかかる認定については、既存のISO 14065認定プログラムにかかる認定基準類にICAO-CORSLIA要件を加え、ISO 14065認定事業の拡大として新しく設置

認定/認証基準類の制・改訂

- IAF MD1
 - 複数サイトの組織が運用するマネジメントシステムの審査及び認証のためのIAF基準文書
 - 2018年3月までに発行予定、発行日即日適用
 - MD1:2007とMD19:2016を統合し、MD1の改訂版として発行、発行後、MD19は廃止
 - 仮想サイトの定義について、MD5と定義が異なる点を整理
 - サイトサンプリングを用いた/サイトサンプリングが適切ではない/複数サイト組織の審査手順/サンプリング可能なサイトとサンプリングできない他のサイトの組み合わせを含む複数サイト組織の審査手順を規定
- IAF MD2
 - 認定されたマネジメントシステム認証の移転のためのIAF基準文書
 - 2017年6月15日発行、2018年6月15日適用
 - これまでの運用から出てきた問題、不明瞭だった部分に対応

認定/認証基準類の制・改訂

- ISO 45001、ISO/IEC TS 17021-10
 - FDIS、DTS投票:2018年1月25日まで
 - 早くて2月、遅くとも3月にIS発行予定(JIS:概ね1か月後)
 - BS OHSAS 18001からISO 45001への認定を受けた認証の移行期間は、規格発行から3年

- OHSMS認証に関する17021-1適用のためのIAF MD文書
- BS OHSAS 18001からISO 45001への移行(Migration)に関するIAF MD文書
 - 2017年12月後半までのIAF投票
 - 2018年はじめに発行予定

認定手順の主な改訂/改訂予定事項

- MS200(マネジメントシステム)
 - IAF MD17、航空宇宙、情報通信、食品安全及び医療機器分野の品質マネジメントシステムなどの規準文書改訂による見直しを実施
 - IAF MD1、労働安全衛生マネジメントシステムなどの規準文書発行による見直しを予定

- PD200(製品)
 - 風力発電システム認定プログラム拡大(プロジェクト認証)(2017年9月)
 - 認定プログラム拡大(漁業及び水産物)、消防設備認定プログラム拡大(消火設備、警報設備、防火水槽等)、GAP認定プログラム拡大(ASIAGAP) (2018年1月)

JABのマネジメントシステムと認定システム

- ISO/IEC 17011改訂
 - 適合性評価機関の認定を行う機関に対する一般要求事項
 - 2014年10月改訂開始
 - 2017年11月29日付け発行
 - 移行期間は規格発行から3年
 - 主な改訂:
 - 適用範囲に技能試験提供者、標準物質提供者、GHG妥当性確認/検証機関を包含
 - ISO/CASCO 文書の共通構造を適用
 - ISO PAS 17000シリーズに基づく共通の要求事項を適用
 - ICTツールによる遠隔審査を活用

MS認定委員会の改編

- 実施時期:2018年1月
- 運営:
 - 力量要求を満たす要員を案件ごとに選定して決定を行う
 - 担当要員全員の同意をもって決定を行う
 - 要求されている力量を担保する要員が欠けることなく同意した場合のみ決定が成立する
 - 決定は速やかに行う
 - 必要かつ適切な場合、書面、電話(TV)会議などの方法を利用する